

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解は十分とはいえない。 制度の活用に向けて、利用者・家族への積極的な情報の提供ができていない。	管理者・職員が制度への理解を深める。 入居契約時に、日常生活自立支援事業や成年後見制度について、利用者・家族に情報を提供する。	10月の職員会議にて制度についての研修を行う。 研修実施後の入居契約時に、制度の案内を行っていく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域との付き合いが限定的。	地域に行きつけの場所をつくり、グループホームの活動を理解していただける人を増やしていく。	地域の物産館で買い物をしたり、町の広報紙を確認し、物産館でのイベントに参加させていただく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月